

# 図書館暦

Seijo University Library

No.132  
2017.7



もくじ

P. 2 ~ 100年前の音楽を探して

P. 4 ~ 『100』に関する先生のおすすめ

P. 8 ~ Library Supporter in 2016

P. 10 ~ 図書館へ行こう!

P. 12 日本アニメーション映画生誕100周年

P. 13 ~ 大学構内にある萬葉植物を探しに行こう! Vol.2

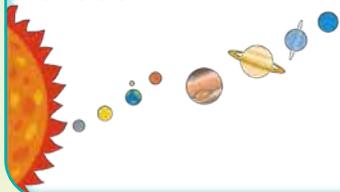
# 100年前の音楽を探して



みなさんは図書館でCDを利用したことはありますか？ 図書館では、約2万2千点ものCDを所蔵しており、その大部分を音楽CD（特にクラシック）が占めています。そこで、今回のテーマ「100」にちなんで、今から100年前の1917年に作曲された曲や発表された音楽をいくつかご紹介いたします！

## 惑星 (The Planets)

グスターヴ・ホルストにより1914年～1917年にかけて作曲されました。7つの楽章で構成されており、それぞれに惑星の名前が付けられています。特にその中の『木星』という曲は、日本のポップス音楽でも歌われて広く知られていますよね！



## クープランの墓 (Le Tombeau de Couperin)

モーリス・ラヴェルによる作品で、1914年～1917年の間に書かれました。この時期は第一次世界大戦の最中でもあり、この曲は大戦で亡くなった友人に捧げられました。

ラヴェルは『ボレロ』の作曲家でもあります！！



## パレード (Parade)

1917年に、ロシア・バレエ団（バレエ・リュス）により上演された『パレード』の音楽として、エリック・サティが作曲しました。タイプライターやピストルなどの音が織り込まれているという、ちょっと毛色の変わった音楽です。

サティの曲は『ジムノペディ』も有名です！



## ローマの噴水 (Fontane di Roma)

オットリーノ・レスピーギによる交響詩。1916年に作曲され、翌1917年に初演。ローマを主題とした3部作の1作目で、2作目が『ローマの松』、3作目が『ローマの祭り』となっています。



# 100年前の音楽を探して

## 結婚 (Les Noces)

イーゴル・ストラヴィンスキーが台本（歌詞）と音楽を手掛けたバレエ作品。ロシアの結婚式を描いた作品で、歌詞はロシアの民衆音楽をもとに翻案したものです。楽曲編成を決定したのは1921年ですが、音楽の骨組みを完成させたのは1917年とされています。



## かかし王子 (A fából faragott királyfi)

バルトーク・ベーラが作曲したバレエ音楽で、1917年に初演されました。日本では『木製の王子』や『木彫り王子』というタイトルになっていることも。ある王子が王女の愛を得ようと木彫りの人形を贈るが、王女はこの人形を愛してしまい…というあらすじ。



1917年は、ジャズが初めてレコード録音された年でもあります。ニューオーリンズ出身のオリジナル・ディキシーランド・ジャズバンドの曲が最初のジャズレコードと言われています。

当館にもジャズ音楽のCDを多数所蔵しておりますので、この機会にぜひ聞いてみては？



いかがでしたでしょうか？ 知っている曲、聞いてみたい曲はありましたか？ CDを利用したい方は、B2FのAVカウンターで利用申し込みをしてくださいね★

## 参考文献

- デブラ・クレイン、ジュディス・マックレル著、赤尾雄人・海野敏・鈴木晶・長野由紀訳、鈴木晶監訳（2010）『オックスフォードバレエダンス事典』平凡社
- ジョン・F・スウェッド著、諸岡敏行訳（2004）『ジャズ・ヒストリー』青土社
- 音楽之友社編（1993）『ラヴェル』音楽之友社
- 長木誠司編（1992）『作曲の20世紀』音楽之友社
- 遠山一行・海老沢敏編（1989）『ラルース世界音楽作品事典』福武書店

全て図書館の資料です！



# 『100』に関する 先生のおすすめ

～成城学園100周年を記念して～



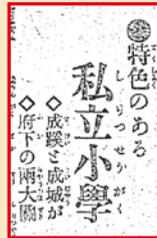
聞蔵II 毎索 ヨミダス歴史館

経済学部 ともまこと 塘 誠 先生



皆さんは教師をどのように呼んでいるだろうか。成城では、「先生」ではなく「さん付け」で呼ぶ学生をみかける。なかには、「あだ名」や「ファーストネーム」で呼ぶ学生もいる。

この起源は、100年前1917年の新聞に見いだすことができる。成城学園創立年であるその年の4月28日付け朝日新聞朝刊5面をみると、「特色のある私立小学—成蹊と成城が府下の両大関」という記事がある。この記事では、「多くの私立小学校中、最も特色があるのは、どうしても中村春二氏の成蹊小学校と澤柳博士の成城小学校である」とし、「この2校は、全くその性質を異にし教育の方針や手段が正反対の観がある」と続け、両校を比較している。成蹊の特色としては、「学校の権威を保ち学校の規則や講師の命令は必ず服従さすべく厳然として之に臨み(中略)、我が国または英国における古代の教育を現今に出現した趣がある」としている。これに対して、成城



朝日新聞  
1917年4月28日  
東京 朝刊



の特色としては、「学校なるものは家庭を大きくしたもので凡て子供が家庭に遊んでいるような気分になり喜戯し学習しているところに見るべき進歩をなすものである」という観念を基礎とし、「生徒に対してはなるべく優しくして教師は子供の友達の様になりおもしろがらせつつ教える方針をとっている」としている。

初等学校では、現在でも教師を先生と呼ぶことはまずなく、「あだ名」で呼んでいるそうである。初等学校の生徒は1学年100人強なので、中高大とあがるにつれ、その比率は自然に下がる。とはいえ、時代を経て脈々と受け継がれた「家庭を大きくした学校」の伝統は、小中高大という学校の枠を超える、強い感染力を持っているようである。

このように、100年という時を超え縦横無尽に検索できるのが新聞データベースの魅力である。朝日、毎日、読売新聞等は明治期から図書館契約のデータベースで検索可能である。(聞蔵II、毎索、ヨミダス歴史館) これらを活用し、身近な歴史に思いをはせるのも一興である。



にいくら たかひと  
文芸学部 新倉 貴仁 先生

成城学園100周年を記念しての「100」というテーマということで、ベタに「100年」を考えてみましょう。100年前の1917年は、第一次大戦のさなかです。この年、ロシア革命がおき、世界初の社会主義国としてソ連が成立しました。東西冷戦を経て、ソ連は1991年に崩壊します。この一連の出来事に注目して、歴史家のエリック・ホブズボームは、「短い20世紀」というテーゼを提出しました(『20世紀の歴史—極端な時代』)。これに対して、視点をアジアやアフリカにとり、20世紀を19世紀後半からはじまった帝国主義と植民地解放の時代として考えるのが、この三月まで本学の法学部に在籍なさった木畑洋一先生の『20世紀の歴史』です。観方によって世紀が伸び縮みするのも面白いですが、その変化の大きさからは「100年」という幅がもつ重みを感じさせます。



翻って、日本社会はどうであったのでしょうか。第一次大戦期、好景気に沸いた日本社会は飛躍的な工業化を遂げます。大学に入り、卒業、就職し、給料を得て生活する人々がたくさん登場してきます。サラリーマンです。この言葉はこの時期にひろく使われるようになります。そういう意味では、この100年は、サラリーマン社会の100年だったのかもしれない。『月給100円サラリーマン』の時代』は、戦前の彼らの生活のさまを教えてください。そうしたサラリーマンの家族が、成城学園に子供を通わせていたと想像してみるのも面白いかもしれません。成城学園にゆかりの深い柳田國男もまた、銀座の朝日新聞社まで、小田急線と路面電車を乗り継いで通勤していました。1931年に出された『明治大正史世相篇』は、当時の時代を描いた現代史の試みとして読むことができます。

戦前のサラリーマンの生活は、映画でよく描かれた主題でもありました。小津安二郎の『生まれてはみたけれど』(1932)や成瀬巳喜男の『腰弁頑張り』(1931)は、サラリーマンの悲哀を笑いとともにあたたく描きだします。内田吐夢の『限りなき前進』(1937)にはリストラされ狂気にいたるサラリーマンの姿が描かれ、衝撃的なのですが、残念なことに、戦後に大幅に編集されてしまったフィルムしか残っていません。時間が過ぎ去ることは何かが喪われることでもあります。未来を見据えつつも、折をみて過去を振り返ることも大事なのかもしれません。



# 『100』に関する 先生のおすすめ

～成城学園100周年を記念して～



## 100回読みたい本

にしどしゅういちろう  
法学部 西土 彰一郎 先生

ニーチェが述べています。「人間の真価は、彼が何をなすうるかにおいてではなく、彼が本来あるところの者として発揮される。」

100回読みたい本とは、私が何かをなすうるために繙くものではない。私が何者であるかをつくり、これからもつくり続けていく人生の同伴者である。少々気障なものいいをしましたが、現在の私は100回読みたい本をこのように考えています。

私事ながら、これまで100回読んだ本といえば、『ゼンツェの接吻』、『ロカルノの女乞食』、そして『聖なる酔っぱらいの伝説』くらいでしょうか。『ゼンツェの接吻』は、ドイツ語を勉強するために大学書林語学文庫（大城功先生の訳注）で読んだものです。『ロカルノの女乞食』は5頁足らずの小品ですが、E.T.A.ホフマンが絶賛したということから、その理由を探りたくて読み続けたものです。したがってこれらは、「何かをなすうるために」繙いた本といえるでしょう。これに対して『聖なる酔っぱらいの伝説』は、アンドレアスが私に化体しているかのように、私の生にとってなくてはならぬ小説となりました。しかし、そのおかげで飲んだくれになり、身体を壊してしまいましたけれども。私も早くテレーズ様に会いたいです。



『聖なる酔っぱらいの伝説』のほかに、100回読みたい、そしておそらく読むであろう本は、『晩夏』です。この小説中の「薔薇の家」を取り巻く自然と芸術の描写は、「自然は、あたかも意図的であるかのような合目的性を持つとき、美しい」、「芸術は、その合目的性があたかも自然であるかのように見えるとき、美しい」といったカントの美学的判断を思い起こさせます（このカントの言葉は、民法学者の原島重義先生のご著書『法的判断とは何か』でも引用されています）。高度に洗練された美をゆっくりとしたテンポで味読するときほど、贅沢な時間はありません。

ニーチェをして「ドイツ文学の至宝」といわしめた『晩夏』。その通りだと思います。



あおやま まさひこ  
社会イノベーション学部 青山 征彦 先生

成城小学校が新宿区牛込に開校してから、今年で百年になる。百年前というと遠い昔のようで、ちょっとイメージしづらい。たとえば、百年前の新宿はどんな様子だったのだろう。図書館に所蔵されている本を手がかりに、百年前の新宿にでかけてみよう。

新宿駅は、百年前にはすでに開設されていて、1925年（大正14年）には鉄筋コンクリート二階建ての駅舎が作られた。中央線の前身である甲武鉄道は、新宿から立川まで開通していて、1922年には国分寺までが電化されている。1915年（大正4年）に京王線、1927年（昭和2年）に小田急線と、私鉄の乗り入れも相次いだ。



「小田急線 沿線の1世紀」（生方良雄監修）には、当時の新宿駅の様子が紹介されている。「江戸東京 街の履歴書」（斑目文雄著）にも、鉄道にまつわる話が多い。

紀伊國屋書店は、1927年に、今と同じ場所で開業した。この年の秋に、紀伊國屋書店では、「しらべもの展覧会」という一風変わった催しがあった。考古学ならぬ考現学を提唱した今和次郎が、銀座のカフェのウェイトレスの衣装をスケッチしたり、行き交う人が和服を着ているか洋服を着ているか数えたりして、その成果を発表していたのである。展示内容のいくつかは、「今和次郎採集講義」（今和次郎著）に採録されている。当時の生活の様子が伝わってきて、おもしろい。

中村屋は、同じ1927年に、新宿店でインドカレーを発売した。そのころ、すでに東京のカフェでは、カレーやとんかつといった、西洋の料理を日本風にアレンジした洋食が食べられていた。しかし、日本に亡命してきたインド人ボースが、ほんとうのカレーはもっとおいしいと中村屋に提案して、インドカレーをメニューに加えたそう。このあたりは、「カレーライスの誕生」（小菅桂子著）に詳しい。「新版大東京案内」（今和次郎編）は、当時の新宿の賑わいを伝える。



どうだろう。百年前の新宿は、思ったよりも古めかしくない。むしろ、現代につながるものが、次々に現れる、活気のある時代だったようだ。いまの日本も、やがては歴史になっていく。これから百年後の未来に、私たちはどんなものをつないでいくのだろう。



Library Supporterとは…  
「図書館を盛り上げたい!」「成城生に本の魅力を伝えたい!」  
そんな動機で結成された団体です。  
昨年度の活動を紹介させていただきます。

# Library Supporter in 2016



オープンキャンパス

オープンキャンパスに来てくださった方に向けての図書館ツアーを行いました。大好評に終わり、成城大学図書館の魅力を伝えることができたかなと思います。メンバー同士の仲を深める良いきっかけにもなりました。



新メンバーとの顔合わせ

2017年度はこのメンバーで頑張ります!!

Apr. May June July Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Jan. Feb. Mar.

新入生に図書館の利用法や活用法をレクチャーし、学生目線での図書館の活用法を提案しました。  
LSの新メンバーの募集も行いました。



文化祭

自分のおすすめの本を図書館の蔵書から選び、プレゼンを行いました。その後、プレゼンした本の展示も行いました。



新入生ガイダンス



図書館1Fでの展示



ビブリアバトル



# 図書館へ行こう!

ここではLSによる図書館の使い方を  
よりもっと知ってもらおうという企画です!



## GROUP GAKUSYUSHITSU

3人以上から利用でき、メインカウンターで  
「利用申込書」を記入するだけでOK!

グループでの資料作成やプレゼンの練習、会議など使用方法は無限大  
1回の利用につき1.5hも借りられるので空きコマに友達と共有しながらの  
勉強場所に最適です!! LSもよく利用します♡大型モニターも使えます♡

## BOOK & AV REQUEST

レポートや授業で使いたい資料が成城大学図  
書館で所蔵していない場合、年間10冊までリ  
クエストをすることができます!

My Libraryにログインし、上部のメニュー  
「利用者サービス」→「購入希望(リクエスト)」  
から必要事項を入力して申し込むだけと簡単  
に出来るのでぜひ活用してみてください♡



## AV ZONE

AVカウンターで空席を確認して、学生証を預け、OPAC(ス  
マートフォンや館内設置端末)で観たい映画や、聴きたい音  
楽資料の所蔵を検索します。以下のようにAV請求票に記入  
し提出します! twitterで満席情報も確認できるのでみてね



タイトル名を書く

請求記号・登録番号を  
書き写すだけ!

## RECOMMEND MOVIES

### 幸せのレシピ

請求記号 DV77b/H54n  
登録番号 Q002032

### サマーウォーズ

請求記号 BD77e/H93s  
登録番号 Q007074

### ハンガーゲーム :final:レボリューション

請求記号 DV77b/R73h/3-2  
登録番号 Q015853

### ズートピア

請求記号 DV77e/H96z  
登録番号 Q016229

## 🎂 日本アニメーション映画生誕100周年

## アニメーション映画年表

1917年 (年表は初期のみ)

## 『芋川椋三 玄関番の巻』

下川 凹天

## 『なまくら刀』

幸内 純一

## 『猿蟹合戦』

北山清太郎

1943年

## 『くもとちゅうりっぷ』

政岡憲三監督

→初のフルセルアニメーション

## 『桃太郎の海鷲』

瀬尾光世監督

→日本初の長編

アニメーション映画

1945年

## 『桃太郎 海の神兵』

瀬尾光世監督

→図書館で観られる作品です!

:

## 参考・引用

津堅信之(2004)『日本アニメーションの力』NTT出版

山口且訓・渡辺泰(1977)『日本アニメーション映画史』有文社

山口康夫(2009)『日本のアニメ全史』テン・ブックス

おかだえみこ「シリーズ日本アートアニメーション映画選集」全12巻

アニメNEXT100(日本のアニメ100年)

<http://anime100.jp/>

日本アニメーション映画クラシックス

<http://animation.filmarchives.jp/index.html>

100年前製作の『なまくら刀』が観られます!!

2017年は日本のアニメーション映画が誕生してから100年目の節目の年です。

日本に映画が輸入されたのは1896年、日本で初めて映画が製作されたのは1899年です。

輸入された映画の中にはアニメーション映画もありました。

輸入されたアニメーション

映画は人気が高く、

その人気の影響から国産

のアニメーションを作ろう

という気運が生まれ、

1917年に

下川 凹天  
幸内 純一  
北山清太郎

の3人がそれぞれアニメーション映画を製作し、公開しました。残念ながら、図書館では観ることができませんが、1924年から1979年の間に製作された116作品を観ることができるDVDがありますので、是非観てみてください。

→「シリーズ日本アートアニメーション映画選集」

この3人が製作した映画で現存しているのは『なまくら刀』(寺内純一)だけです。



図書館にある資料です。

大学構内にある  
萬葉植物を探しに行こう!

Vol.2

前号に引き続き成城大学構内の「萬葉集」で詠まれた植物とその歌を紹介します。今回は夏から秋にかけて咲く花と歌の紹介です。

是非巻末のマップを持って実際に花を見に行き奈良時代から変わらぬ花の姿を見ながら歌を詠んでみましょう。

## ①紫陽花(6月~7月)

あぢさゐの八重咲くごとく八つ代にをいませ我が背子見つつしのはむ  
(橘諸兄、巻第二十、四四四八)(アジサイが幾重にも重なって咲くように、いよいよ久しい代までも  
お元気でいてください。我が君よ。見てはほめたたえましょう。)

## ②合歡(ネムノキ)(6月~7月)

昼は咲き夜は恋ひ寝る合歡木の花君のみ見めや戯奴さへに見よ  
(紀女郎、巻第八、春の相聞、一四六一)(昼は花咲き、夜は恋して眠るというねむの花、  
主君だけが見てもよいものか。お前も見なさい。)

## ③萩、ススキ(ヲバナ)(9~10月)

人皆は萩を秋と言ふよし我は尾花が末を秋とは言はむ  
(作者未詳、巻第十、秋の雅歌、二一一〇)

(人は皆萩こそ秋だと言う。それもよい。私はすすきの穂先を秋だと言おう。)

## ④紅葉(11月)

経もなく緯も定めず娘子らが織るもみち葉に霜な降りそね  
(大津皇子、巻第八、秋雅歌、一五一二)

(縦糸もなく横糸も決めないで娘子たちが織る紅葉の錦に、霜は降ってくるな。)



## 文芸学部国文学科 小林真由美先生より

お月見(中秋の名月=旧暦九月の満月)の時に、お団子と共に供え物にする「秋の七草」。「春の七草」は食用の野草ですが、「秋の七草」は観賞用です。『万葉集』の歌人・山上憶良が歌に詠んだ「七種の花」に由来します。

秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花(其の一)  
(秋の野に咲いている花を、指を折って数えてみると、七種の花)

萩の花 尾花 葛花 なでしこが花 をみなへし また 藤袴 朝顔が花 (其の二)  
(萩の花、尾花(ススキ)に葛の花、なでしこの花、おみなえし、それに藤袴、朝顔の花)

「山上憶良の秋野の花を詠む歌二首」  
巻第八、一五三七・一五三八

成城池のほとりの萬葉花壇(日向)に、秋の七草のうちいくつかは植えられています。ぜひ足を運んで、指を折って数えてみてください。

### 小林真由美先生おすすめ 岩波文庫の「万葉集」

- 原文万葉集／佐竹昭広ほか校注  
：911.12/MA48/1, 2：1階文庫コーナー
  - 万葉集／佐竹昭広ほか校注  
：911.124/MA48/1~5(I.B)：1階文庫コーナー
- 最新の研究による万葉集が手軽な文庫本で読めます

### 新刊図書紹介

- 和漢古典植物名精解／木下武司著：910.4/KI46：2階  
『万葉集』はもちろん『源氏物語』『枕草子』などの古典文学に登場する植物を薬学博士の著者が当時の人々の目線で解き明かしています



## 大学構内萬葉植物マップ 夏～秋



# 図書館カレンダー

7月

July

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

August

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	28	30	31		

9月

September

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

October

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

November

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

December

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日	
開講期間	9:00-20:00
開講期間(土曜)	9:00-18:00
定期試験期	9:00-21:00

臨時開館	9:00-17:00
休講期間	9:00-17:00
休講期間(土曜)	9:00-12:00
休講日	9:00-16:00



※開館日、時間は変更の可能性があります。  
最新のカレンダーはHPで確認をお願いします。